

仁池（にいけ）



諸元

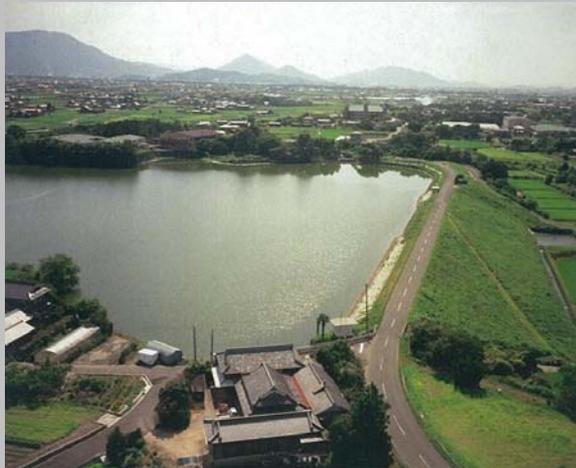
貯水量	1,502 千m ³
満水面積	28.0ha
集水面積	187.8ha
受益面積	347.0ha
堤高	16.0m
堤長	328m

丸亀市飯山町東南部に位置する「仁池」は150万m³以上の貯水量を持ち、下流に広がる約350haもの田に水の富を与えています。

仁池が築造されたのは慶安元年（1648年）で、県内の名のあるため池を多く手掛けた^{やのべへいろく}矢延平六^{きょうじ}叶次が、延べ68,398人の労力を用い、2年をかけて築造したと伝えられています。堤防の西側には、平六を祭るために^{ひわたしじんじや}飛渡神社が建立されており、現在も毎年ユル抜き神事が行われています。また、池のほとりには善光寺や地神社があり、灯籠流しや社日の行事がそれぞれ行われています。

築造後も干ばつに苦しんだ仁池ですが、平成7年には香川用水に仁池分水からの専用導水管工事が完成し、香川用水の分水全量が仁池に流入するようになり、水が安定供給されるようになりました。近年では国営総合農地防災事業で平成10～13年と平成19年に老朽化したため池の改修が行われています。

堤防はサイクリングロードとしても親しまれています。西側にある飛渡神社碑には仁池と矢延平六叶次のエピソードも記されていますので、天気のいい日にはサイクリングに出かけ、先人の英知と努力の歴史を感じてみてはいかがでしょうか。



仁池



飛渡神社